

1. 学会関連情報

○「放射線被ばくに伴うがんリスクの推定コードの開発専門研究会」の第2回会合が実施されます
(Web会議)

会員・非会員を問わずオブザーバとして参加が可能です

日時・場所: 令和2年10月7日(水)10:00~12:00(予定) ZoomによるWeb会議

参加申し込み期限: 10月2日 12:00

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=218>

○専門研究会運営細則及び専門研究会運営に関する留意事項が理事会で承認され、学会HPに掲載されました。

・委員会運営に関する細則: http://www.jhps.or.jp/upimg/files/C-1-1_0914%282%29.pdf

・専門研究会運営に関する留意事項:

http://www.jhps.or.jp/upimg/files/senmon_200914%281%29.pdf

○令和2年度放射線影響研究功績賞及び同奨励賞受賞候補者の推薦に関するご案内
(選考受付期限: 2020年11月20日(金))

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=216>

○IRPA-15の開催が2021年1月18日-22日に延期されました。

各種提出・登録締切も延長されています。詳細は大会HPにてご確認ください。

<https://www.irpa2020.org>

2. 論文情報

○Cardiovasc Interv Ther. 2020 Sep 15. doi: 10.1007/s12928-020-00708-9.

構造的な心疾患インターベンションにおいて、麻酔科医、経食道心エコー操作者の被ばく低減のために、手術台の患者頭部に配置する放射線防護具を開発し、80%程度の効果的な被ばく低減を可能とした。

Effectiveness of a radiation protective device for anesthesiologists and transesophageal echocardiography operators in structural heart disease interventions

Miyazaki H et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32935276/>

○Radioprotection. 2020 Aug 24. doi: 10.1051/radiopro/2020059

PAZ および UPZ を含む道府県庁に対し、2019年にアンケート調査をした結果、8割以上の自治体が原子力災害時における広域避難マニュアルを既に策定しており、避難退域時検査訓練などの実動訓練実施経験を有していることが判明した。また実動訓練の実施経験を持つ自治体は放射線リスクコミュニケーションに関する高い教育ニーズを有している可能性が示唆された。

Investigation of local governments' preparation for evacuation in nuclear emergency in Japan

Sakamoto M et al.

<https://doi.org/10.1051/radiopro/2020059>

○Health Physics: June 8, 2020 - Volume Publish Ahead of Print

NCRP156 傷モデルとICRPの体内動態モデル等を用い、傷口よりウランを取り込んだ際の実効線量係数、残留率、排泄率などを評価。

Effective Dose Coefficients for Intakes of Uranium Via Contaminated Wounds for Reference Adults

Bin Z et al.

<https://journals.lww.com/health->

[physics/Abstract/9000/Effective_Dose_Coefficients_for_Intakes_of_Uranium.99770.aspx](https://journals.lww.com/health-physics/Abstract/9000/Effective_Dose_Coefficients_for_Intakes_of_Uranium.99770.aspx)

○Journal of Environmental Radioactivity 223–224 (2020) 106397

航空機モニタリングデータより、千葉県から岩手県にかけての自然放射性核種による吸収線量率マップを作成。

Distribution map of natural gamma-ray dose rates for studies of the additional exposure dose after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station accident

Sanada Y et al.

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0265931X20304379>

○Radiat Res. 2020 Sep 16;194(3):259-276. doi: 10.1667/RR15571.1.

原爆被爆者寿命調査のデータから、線量測定誤差を考慮して、英米仏露日中の各国における固形がん、白血病、循環器疾患の生涯死亡リスクを推定した(ICRPタスクグループ91による低線量係数(LDEF)解析の一環)。1 Gyでの線量あたりのリスクは、0.01 Gyより1 Gyで、固形がんと白血病では倍、循環器疾患では半分であった。固形がんと循環器疾患のリスクは女性の方が高いが、白血病は男性の方が高かった。相対リスクモデルでは、他国より日本と中国で、乳がんリスクは

低くなり、胃がんリスクは高くなった。絶対リスクモデルでは、国によるリスクの差は、乳がんと胃がんでは小さいが、肺がんや循環器疾患で認められた。

Lifetime mortality risk from cancer and circulatory disease predicted from the Japanese atomic bomb survivor Life Span Study data taking account of dose measurement error.

Little MP et al.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/32942303>

<https://www.rerf.or.jp/uploads/2019/07/RR10-19-synopsis-j.pdf>

○Int J Environ Res Public Health, 2020 Sep 11;17(18):E6625

福島県富岡町の元住民を対象に、事故後9年を経過した元住民の健康関連 QOL (HR-QOL) と帰宅の意思との関連を評価した。在宅復帰未定の入居者では HR-QOL が低下していることを示した。

Quality of Life and Intention to Return among Former Residents of Tomioka Town, Fukushima Prefecture 9 Years after the Fukushima Daiichi Nuclear Accident.

M Orita, et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32932913/>

○Radiat Res, 2020 Sep 16;194(3):277-287.

高線量の TBI が成人の脳に及ぼす長期的な影響は明らかになっていない。高線量 TBI (1.1～8.5Gy) を照射したアカゲザル、*Macaca mulatta*] を脳 MRI で縦断的にモニターし、低尖度(脳微小出血および/または局所壊死)の有無を検討した。16 匹中 12 匹が最初の MRI 評価時に少なくとも 1 つの脳病変を有し、TBI が照射後数年で脳血管障害を発症するリスクがあることを示唆した。

Non-human primates receiving high-dose total-body irradiation are at risk of developing cerebrovascular injury years post irradiation

RN Andrews, et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/32942304/>

3. ニュースや社会の動き

○日本分析センター 放射能測定法シリーズ No.7「ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトロメトリー」を改訂(9月15日)

https://www.kankyo-hoshano.go.jp/series/main_pdf_series_7.html

○原子力規制庁 パブリックコメント:原子力災害対策指針及び関係規則類の改正案に対する意見募集の実施について(緊急時活動レベル(EAL)の見直し)(9月17日)

https://www.nsr.go.jp/procedure/public_comment/20200917_01.html

○原子力規制庁 パブリックコメント:試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則等の改正案に対する意見募集について(9月17日)

https://www.nsr.go.jp/procedure/public_comment/20200917_02.html

○原子力規制庁 廃止措置計画認可基準の見直しに係る試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則等の改正案及びこれらに対する意見募集 令和2年9月16日

<https://www.nsr.go.jp/data/000327314.pdf>

○IAEA NORM 国際会合(令和2年10月19-30日、ヴァーチャル会合)のプログラム案を公開

[https://www.iaea.org/sites/default/files/20/09/cn-287-](https://www.iaea.org/sites/default/files/20/09/cn-287-programme_norm2020_detailed_draft_080920.pdf)

[programme_norm2020_detailed_draft_080920.pdf](https://www.iaea.org/sites/default/files/20/09/cn-287-programme_norm2020_detailed_draft_080920.pdf)

<https://www.iaea.org/events/norm-2020>

○IAEA 放射線安全国際会合(令和2年11月9-20日、ヴァーチャル会合)のセッション構成案を公開

<https://www.iaea.org/sites/default/files/20/09/rasa-programme.pdf>

<https://www.iaea.org/events/international-conference-on-radiation-safety-2020>

○経済産業省 鉱山保安法関連法令の水晶体等価線量限度の見直しに係る改正(パブリックコメント:2020年9月9日~10月9日)

<https://search.e->

[gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595120109&Mode=3](https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595120109&Mode=3)

4. これからのイベント

○放射線影響懇話会「福島事故の影響における科学と社会に関する講演およびパネル討論会」(10月24日、web開催)

<https://www.facebook.com/events/619618102089190/>

○内閣府 第64回IAEA総会バーチャルサイドイベント「放射線がん治療の加速的な進歩」(9月22日、オンライン配信)

<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20200915iaea.html>

○放射線安全フォーラム 第65回放射線防護研究会「患者さんへの被ばく説明を考えるー医療被ばくの正当化と最適化ー」(10月17日、web開催)

https://www.rsf.or.jp/events_research.html

○Radiation/chemical AOP workshop「Adverse outcome pathway integration into radiation risk assessment」(WebEx、2020年10月7日-8日の21:00-25:00)

<https://cvent.me/mqWbLX>

○ICRP・JAEA 原子力事故後の復興に関する国際会議「福島及びこれまでの事故から学ぶ放射線防護の教訓」(ウェブ、2020年12月1日-4日)福島県での開催からウェブ開催に変更

<http://www.icrp.org/page.asp?id=479>

○量子科学技術研究開発機構 公開講座「放射線医学で目指す がん・認知症の克服と医療被ばくの最適化」

(10月18日(日)、Webex Events によるオンライン開催)

<https://www.qst.go.jp/site/qms/43641.html>

○第8回日本放射線事故・災害医学会年次学術集会(10月3日 Web開催)

<http://jaradm.org/gakujutsu.html>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○原子力規制委員会 原子力規制委員会行政職員(技術系)の公募(応募受付期間:令和2年9月16日(水)~令和2年11月6日(金)) 令和2年9月16日(更新)

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/koubo_tech.html

○東洋大学 複合領域-健康・スポーツ科学の専任教員(食品科学(基礎化学等化学系も含む)分野)(2023年4月採用)2020年11月30日 必着

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D120090670&ln_jor=0

○高エネルギー加速器研究機構 技術職員募集(実験装置運転等担当)常勤 2020年10月28日 必着

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D120090419&ln_jor=0

既発行の Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletterにて会員に有益な最新論文やイベント情報等の発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同コミュニケーション委員会 Newsletter 作成グループ

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

— —